

Neues in Nara

Nr. 71
2020年4月24日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

●行事予定

1. 奈良日独協会・2020年度年次総会及び神余隆博様の講演会中止のお知らせ

当初、5月16日(土)午後より予定の上記総会、及び講演会は、昨今の情勢を勘案し中止することになりました。2019年度の事業計画・会計報告及び2020年度の事業計画・予算について、理事会で承認されましたので、茲許同封の上送付申し上げます。本来、上記は総会の決議を経て作成されるべきものですが、今回は特殊な事情なることご勘案いただき、会員の皆様のご了承をお願いします。

2. 第26回シュタムティッシュ中止

6月7日(日)開催予定であった、シュタムティッシュは中止になりました。

●行事報告

1. 第25回シュタムティッシュ

2月16日(日)15時より大安寺催事棟で、会員の土谷真理子さんに「私が研究者として歩んだ道のり」と題して話題提供頂きました。土屋さんは、一昨年5月に住友生命の第12回「未来を強くする子育てプロジェクト賞」を受賞された後も研究を続けて、現在は「ドイツ語圏近代における自然詩の展開とスイス」をテーマに取り組んでおられます。

今回は、研究の一端をご紹介いただくとともに、これからの展望などについて、興味深いお話をお伺いすることが出来ました。



シュタムティッシュ終了後、奈良県立医大にドイツから留学中の3名の学生(左上の写真)も加わり、歓談の機会を持ちました。



2. 3月29日(日)のドイツ料理教室中止

当初予定の上記料理教室は、中止になりました。

●会員だより

会員の亀井明子さんから

「Schreibzentrum を知っていますか？」

昨年末、記述式試験の大学入試への導入見送りというニュースが報道されましたが、その制度の是非はさておき、私の留学生活は、まさしく「書く」という行為を通じて様々な出会いや新たな学びの機会を得た五年間でした。

グラーツ大学には **Schreibzentrum** という施設があり、そこではレポートや論文など、学術的文章(アカデミック・ライティング)の作成支援が提供されています。文章の書き方に行き詰まって個人相談に行くと、担当者である Pany さんは棚から「処方箋」を取り出してくれます。これは、学生が遭遇しがちな困難を想定して予め何十種類も用意されているもので、学生の症状に合わせて処方されます。私も幾度となく Pany さんの処方を受けてピンチを切り抜けることができました。

また年に一度、「Lange Nacht der aufgeschobenen Seminararbeit」という行事が夜通しで開催されます。大学の大講堂が開放され、学生たちがそこにパソコンを持ち込み、無料で振舞われる夜食や合間に行われるヨガなどを楽しみながら、一緒にレポートなどを書くのです。

論文の書き方で困ったらすぐに相談できる場所の存在は、留学中の強固な心の支えでした。また、アカデミック・ライティングの基礎を取得出来たことは、自身の研究に大きな転機をもたらしました。帰国の際、別れの挨拶に行くのが一番辛かったくらい、**Schreibzentrum** は私にとってかけがえのない場所になっていました。

留学でのこうした経験や知識を、これからもっと日本に紹介できたらと思っています。



グラーツ Schlossberg の時計塔前で

●新入会員

上村昂史(たかし)さん(京都府木津川市在住)が、入会されました。